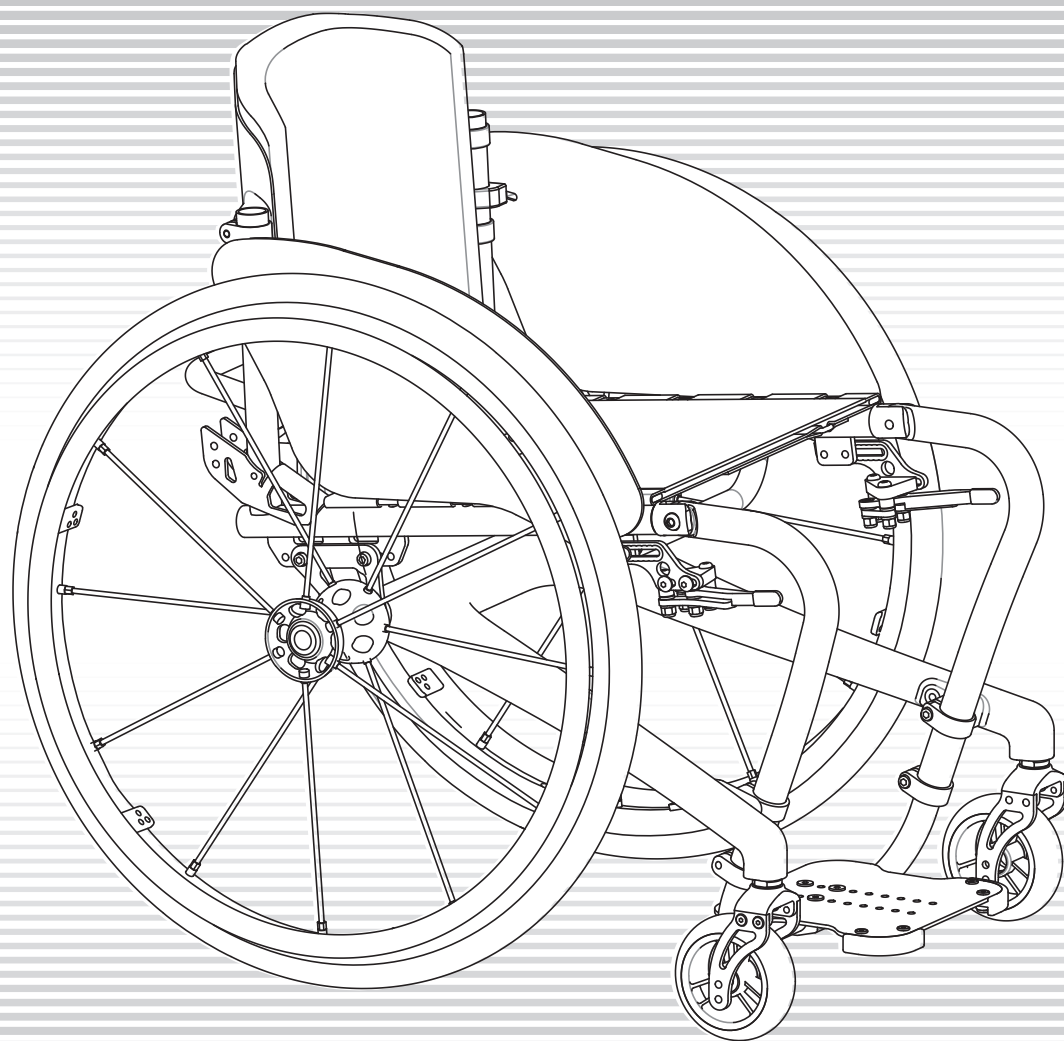


MAX PLEASURE

D-MAX
CARBON ELEMENT

取扱説明書
(保証書付)



このたびは、(株)松永製作所の車いすをお買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書には、お客様が安全に正しくご使用していただくために必要な注意事項や正しい使い方が説明されています。

ご使用になる前には、必ずお読みください。

また、保証書(裏表紙)が付いておりますので紛失しないように大切に保管してください。安全にご使用していただくために、点検・記録表が付いておりますので、ご自身・お買い求めの販売店(有料)等で定期的に点検をしていただくようお願いします。

車いすが、使用者の身体に合わない状態で乗らないでください。健康をそこなう恐れがあります。
そのような場合は、購入されたお店または、かかりつけの病院にご相談ください。

- お買い上げの製品は改良などによりこの「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店、または直接弊社までお問い合わせください。

同梱部品一覧表

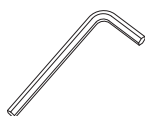
付属品

以下の物が同梱されているか、確認してください。

六角レンチ



対辺3mm
1本



対辺4mm
1本



対辺5mm
1本

スパナ



対辺8・10mm
2本



対辺22・24mm
2本

- 万一、不足品がありましたら、すぐにお買い上げの販売店、または弊社にご連絡ください

ご使用前に

出荷時には検査をしておりますが、ご使用前に次のご確認をお願いいたします。

- 箱が破損したり、濡れたりしていないか。
- 各部の破損・キズ、フレームのゆがみ、ボルト・ナットや部品の脱落はないか。
- 付属品はすべて揃っているか。
- タイヤの空気圧は適正か。(タイヤを指で押さえ確認してください。)

もし異常があればご使用にならず、すぐにお買い求めの販売店または、弊社までご連絡ください。

安全にお使いになるためのご注意



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性があることおよび物的損害の発生する可能性が想定されることを示しています。

お守りいただく内容の説明



この表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。



この表示は、必ずしていただく「**強制**」内容です。

警告

<p>(禁止)</p> <p>してはいけない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■故障、異常のある際は、直ちに使用を中止してください。 ケガ、転倒・転落事故等の原因となります。 ■タイヤの空気圧が少ない状態で、使用しないでください。 駐車用ブレーキのロックが出来なくなり、車いすが動き、事故の原因となります。 また、タイヤのパンクの原因となります。 ■使用中は駆動輪中央のロックピンを押さないでください。 駆動輪が外れて、転倒・転落事故の原因となります。 ■フットサポートの上に乗って乗り込んだり、降りるとき上に立ち上がらないでください。 車いすがバランスを崩し、転倒・転落事故等の原因となります。 ■バックをしながら急停止をしないでください。 転倒事故等の原因となります。 ■走行中、身体を乗り出さないでください。 バランスが不安定になり、転倒・転落事故等の原因となります。 ■スピードをつけて、段差を乗り越えようとししないでください。 ユーザーが車いすから転落して事故等の原因となります。 ■火気の近くに置かないでください。 タイヤがパンクしたり、シートが燃え、火災の原因となります。 ■車いすのシートの上で立ち上がらないでください。 転倒・転落事故等の原因となります。
<p>(強制)</p> <p>していただく</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■車いすに乗り降りする際は、必ず駐車用ブレーキをロックしてください。 車いすが動き、転倒事故の原因となります。 ■フットサポートの高さは、地面から50mm以上確保してください。 路面の凹凸や障害物に引っかかり、転倒・転落事故等の原因となります。 ■キャスタフォークの穴位置変更時は、必ずキャスタ角度も合わせて調整してください。 車いすの破損や転落事故等の原因となります。 ■ご使用前は、駆動輪が確実に固定されていることを確認してください。 使用中に外れ、転倒・転落事故等の原因となります。 ■車いすの乗り降りは、路面の平坦な場所で行なってください。 車いすが動き、バランスを崩し、転倒・転落事故等の原因となります。 ■乗り降りの際、介助が必要な方は、必ず介助者が付き添ってください。 バランスを崩し、転倒・転落事故等の原因となります。 ■車いすに人が乗った状態で車いすを持ち上げるときは、声をかけ合って、皆同時にゆっくりと持ち上げていただくようにしてください。 持ち上げたとき座面が斜めになり、バランスをくずして、転倒・転落事故等の原因となります。 ■坂道を下るとき介助者は、下り坂の下側に立ち、確認しながら後ろ向きにゆっくりと走行してください。 前向きで下ると、乗っている人がずり落ちたり、前のめりとなり、転倒・転落事故等の原因となります。 ■フットサポートに足が乗っているか確認して走行してください。 ケガや転倒・転落事故等の原因となります。 ■ブレーキの調整を行う時は必ず車いすから降りて行ってください。 転倒・転落事故等の原因となります。

注意

<p>(禁止)</p> <p>してはいけない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■タイヤを持って車いすを操作しないでください。 駐車用ブレーキに手があたり、ケガをする原因となります。 ■車輪が回転しているときは、スポークに手や指を差し込まないでください。 手や指を挟んで、ケガ等をする原因となります。 ■スピードが出ている状態で、素手でハンドリムを持って減速しないでください。 摩擦で、手にケガをする恐れがあります。そのようなご使用をされる場合は、車いす用の手袋(オプション)をご使用ください。 ■車いすを横向きに倒して上に物を置かないでください。 物の重みで車輪フレームが曲がったりして故障の原因となります。
<p>(強制)</p> <p>必ずしていただく</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■キャスタ輪固定ボルトをしめた後、必ずキャスタ輪が回転することを確認してください。 回転しない場合は、回転するようボルト・ナットを調整してください。 ■移動中、つま先が障害物に当たらないように、確認して走行してください。 ケガ等の原因となります。

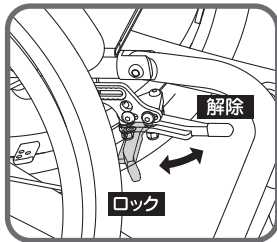
安全にお使いになるための使用方法

駐車用ブレーキの使用方法

- 駐車時には、駐車用ブレーキをかけ、車輪の回転をロックします。

シザーロック

ブレーキレバーを後方へスライドさせると、ロックがかかります。前方へスライドさせると解除されます。



警告

- タイヤの空気圧が少ない状態で、使用しないでください。駐車用ブレーキのロックが出来なくなり、車いすが動き、事故の原因となります。また、タイヤのパンクの原因となります。

してはけない

警告

- 車いすに乗り降りする際は、必ず駐車用ブレーキをロックしてください。車いすが動き、転倒事故の原因となります。

していただく

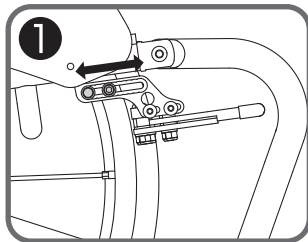
ブレーキの調整

使用工具

・対辺5mm六角レンチ、対辺4mm六角レンチ、対辺10mmスパナ

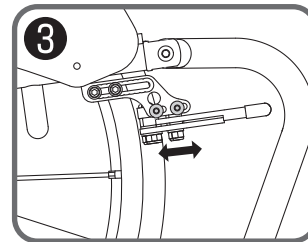
- ブレーキの調整を行う時は、ブレーキを解除した状態で行います。

- 1 対辺5mm六角レンチと対辺10mmスパナを用い、適当な位置にブレーキを調整します。



- 2 ブレーキの効き具合を確認する。

- 3 対辺4mm六角レンチを用い、ブレーキの位置の微調整を行います。



- 4 ブレーキの効き具合を確認する。

警告

- ブレーキの調整後は、ブレーキが確実にかかることを確認してください。駐車時にブレーキがかからず、事故の原因となります。
- ブレーキの調整を行う時は必ず車いすから降りて行ってください。転倒・転落事故等の原因となります。

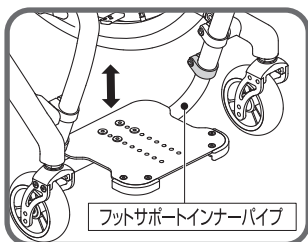
していただく

フットサポートの高さ調整

使用工具

・対辺5mm六角レンチ

- ユーザーに合わせて、フットサポートの高さを調整できます。



- 1 対辺5mm六角レンチを用い、ボルトをフットサポートインナーパイプが動くまで緩めます。(左右共)
- 2 フットサポートの高さを適当な位置に調整します。
- 3 1で緩めたボルトを固定します。

警告

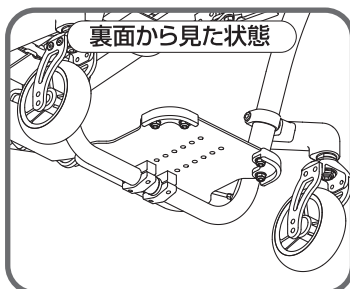
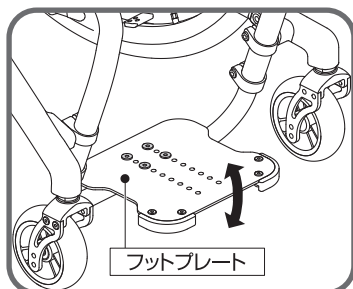
- フットサポート高さ調整後は、高さ調整パイプが確実に固定されていることを確認してください。使用中に外れ、転倒・転落事故の原因となります。
- フットサポート高さは、地面から50mm以上確保してご使用ください。路面の凹凸や障害物に引っかかり、転倒・転落事故の原因となります。

していただく

フットサポートの角度調整

使用工具 ・対辺3mm六角レンチ

●ユーザーに合わせて、フットサポートの角度を調整できます。



- ① 対辺3mm六角レンチを用い、ボルトを緩めます。(4箇所)
(ボルトを外す必要はありません。)
- ② フットプレートの角度を調整します。
- ③ ①で緩めたボルトを固定します。

警告

- フットサポート角度調整後は、フットサポートが確実に固定されていることを確認してください。
使用中に、フットサポートが傾き、足が落ちてケガの原因になります。
- 以下の点で、フットサポートの調整角度に注意してください。
 - ・調整角度が大きいと、地面との接触の恐れがあります。
 - ・部品の破損やケガ、転倒・転落事故の原因となります。

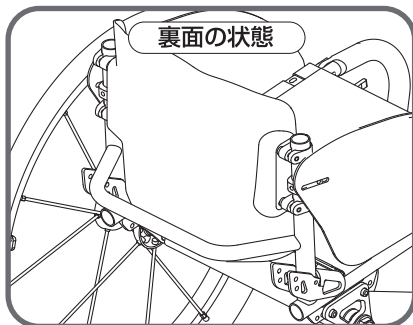
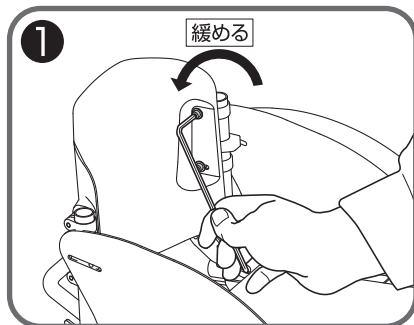
していただく

バックサポートの調整

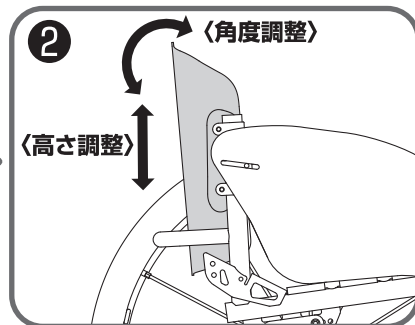
使用工具 ・対辺5mm六角レンチ

●ユーザーに合わせて、バックサポートの高さ・角度が同時に調整できます。
高さ・角度の調整を個別に行いたい場合は、あらかじめ、目安の位置に印をして頂くと、
容易に行えます。

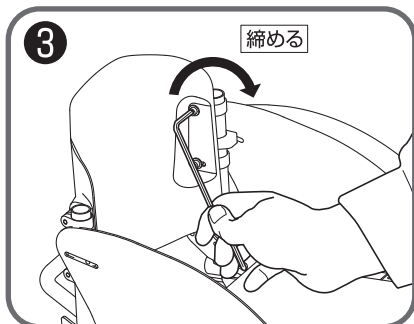
- ① 対辺5mm六角レンチを用いて、
ボルトを緩めます。(4箇所)



- ② 高さ・角度を適当な位置に調整します。



- ③ 六角レンチを用いて、ボルトを締め
ます。



警告

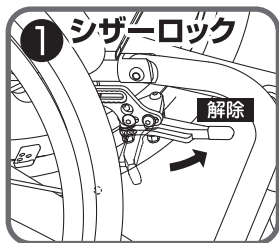
- バックサポート高さ・角度調整後は、バックサポートパイプが確実に固定されていることを確認してください。
使用中にバックサポートの高さ・角度が変わり、転倒・転落事故の原因となります。

していただく

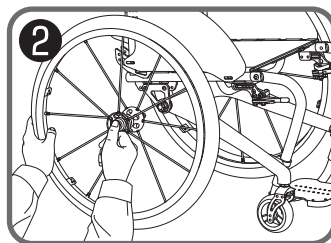
着脱式駆動輪の外し方

●車に搭載する時やパンク修理の時などは、駆動輪を外すと、便利です。

① ブレーキが解除されていることを確認する。



② フレームを押さえ、駆動輪中央のロックピンを親指で押したまま、駆動輪を引き抜きます。

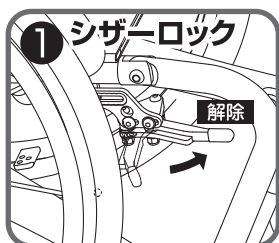


警告
●使用中は駆動輪中央のロックピンを押さないでください。駆動輪が外れて、転倒・転落事故の原因となります。

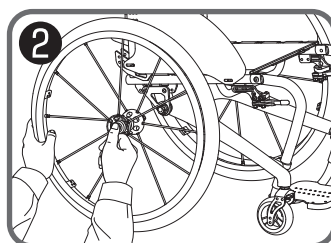
してはいけない

着脱式駆動輪の取付け方

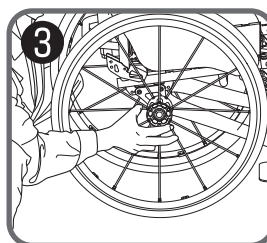
① ブレーキが解除されていることを確認する。



② 駆動輪中央のロックピンを親指で押したまま、シャフトを車軸穴に真っ直ぐに奥まで差し込み、押している指を離す。



③ 駆動輪が確実に固定されたか確認する。



警告

●ご使用前は、駆動輪が確実に固定されていることを確認してください。使用中に外れ、転倒・転落事故の原因となります。

していただく

もしこんなトラブルが発生したときは

●車いすを使用されていて故障かな、と思うトラブルが発生したら、修理を依頼する前に、下記項目を確認してください。

トラブル	確認点	対処
タイヤの空気を入れてもすぐに抜ける	タイヤの空気入れ部のネジは、しっかり締めまっていますか	しっかり締め直してください
	バルブは劣化していませんか	バルブを交換してください
走行操作が重い	タイヤの空気圧は適正ですか	空気を入れてください
	駆動輪・キャスタ輪(前輪)に、毛髪、ビニールが巻きついていませんか	取り除いてください
真っ直ぐ走らない	キャスタ輪(前輪)が片減りしていませんか	取扱店にご連絡してください
ブレーキが効かない	タイヤの空気圧は適正ですか	空気を入れてください
	タイヤは摩耗していませんか	取扱店にご連絡してください
ブレーキの動きがかたい		回動部にグリスを塗布してください
駆動輪が抜けにくい	ブレーキがかかった状態になっていませんか	ブレーキを解除してください

メンテナンス

●車いすを快適に長くご使用いただくために定期的にメンテナンスを行ってください。

- * 適切な工具で、部品を損傷しないように作業してください。
- * 使用部品は、マツナガ純正部品を使用し、分解した部品は、順序良く整理して汚れを落とし、元通りに組み立ててください。
- * 作業に不安のあるときは、販売店にご相談ください。

点検

点検	整備
各部のゆるみ、ずれ、ねじれ、傷、破損はないか	異常があれば修正して元通りにする。 程度によっては、販売店に相談して交換する。
タイヤの亀裂、損傷、摩耗はないか	使用限度を超えたものは、交換する。
タイヤの空気は適正であるか	空気を入れる。 適正タイヤ空気圧 ・24×1 700kPa (7.0kgf/cm ²)
シートの破損、糸切れはないか	使用限度を超えたものは、交換する。

* 点検後、試乗して確認し、異音、違和感のある場合は、再度調整してください。

お手入れ方法

- 清掃は、水につけたタオルを強くしぼり、泥やホコリを拭き取った後に乾いた布で仕上げ拭きをしてください。揮発性剤（シンナー・ベンジン・アルコール類）では、清掃しないでください。変色したり、劣化の原因となります。ホースなどで、直接水をかけないでください。車輪及びフレーム内部・ブレーキ部に水滴が残り、錆の原因となります。
- タイヤの空気圧は、最適タイヤ空気圧を保ってください。空気圧が少ないときは、補充してください。

保管場所

次のようなところでは、保管しないでください。故障の原因となります。

- 雨に濡れるようなところ ● 直射日光が当たるようなところ ● 湿気の多いところ
- 高温室になるところ ● 炎天下になるところ

保証

- 保証期間は、お買上げ後1カ年です。(本体、付属品共)
ただし、次の場合は、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。
 1. 火災、天災による故障・損傷の場合
 2. 取扱説明書に記載の使用方法・ご注意に反するお取扱いによって発生した故障の場合
 3. 無断仕様変更及び、改造による故障の場合
 4. タイヤの摩耗、パンク、シートのやぶれ、ブレーキ等の消耗品、及び各部の劣化による故障、損傷の場合
 5. 修理に要した運賃等の諸経費
- この保証書は日本国内のみ有効です。

アフターサービス

万一故障の場合は、お買上げいただきました販売店、または(株)松永製作所へ保証書ご持参の上、修理をお申しつけください。



株式会社 松永製作所

〒503-1272 岐阜県養老郡養老町大場484
TEL0584-35-1180(代) FAX0584-35-1270
URL <http://www.matsunaga-w.co.jp>